

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 29日 ～ 2025年 2月 15日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	本人の思いや希望を聞き取る機会を設け、保護者と相談しながら支援にあたっている。	引き続きこども本人とご家庭のニーズにしっかり耳を傾け迅速に対応していく。 訪問側との良好な関係作りを構築する。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	報告書には画像も加え、授業中の様子を丁寧にお伝えすることを心掛けている。	
3	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	ニーズに変更がないかを保護者に適宜聞き取りを行っている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	その日中には記録に残し、各職員が閲覧出来r状態になっている。 重要な共有事項以外を共有する時間確保ができていない。	前日、翌日のミーティングの中に確認事項として落とし込む。
2	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	時間確保の働きかけができていない。	学校側とも支援の統一性をはかれるよう、やり取りしやすい良好な関係性を保つ。 訪問後は必ず相談、助言、支援へ向けて話合う機会や体制を積極的に確保する。事前に訪問側と打ち合わせる。
3	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	開催についての情報不足。 勤務時間外が開催日であることも多い。	機会があれば、積極的に参加する。 情報には常にアンテナを立てて情報収集する。 地域の方との交流の場を設ける。